

2012年3月期 第2四半期 決算説明資料

ブラザー工業株式会社

2011年11月1日

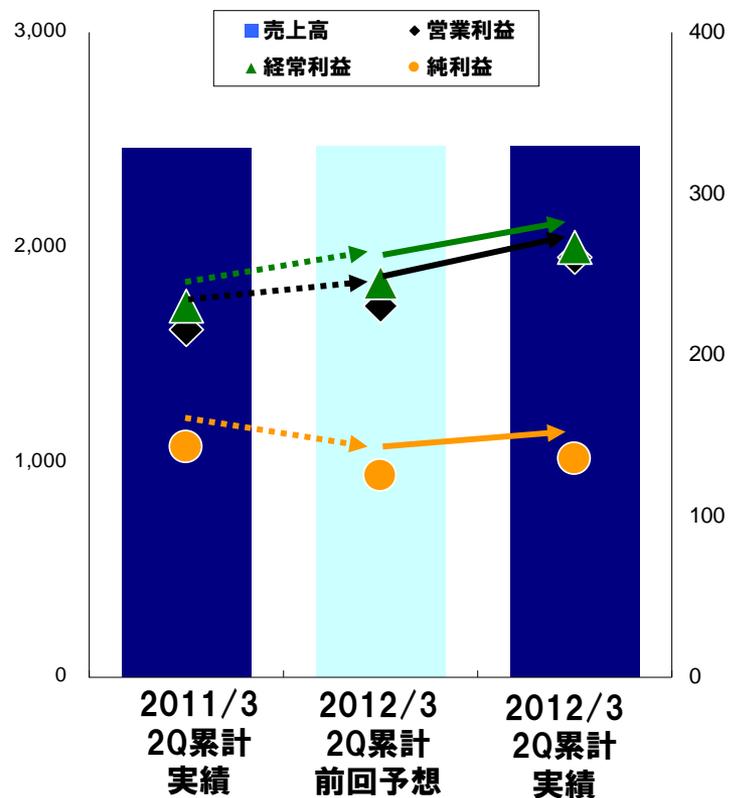
この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関わるさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。

2012年3月期 第2四半期累計実績

(億円)

売上高

利益



USD 88.85 79.74 79.73
EUR 114.82 115.04 114.09

()は為替影響を除いた増減率 単位: 億円

	2012年3月期 2Q累計実績	対前年実績増減		対前回予想増減	
売上高	2,466	2,462	+4 +0.2% (+3.6%)	2,470	△ 4 △ 0.2%
営業利益	260	215	+45 +20.8%	230	+30 +13.1%
経常利益	267	230	+37 +15.9%	245	+22 +8.8%
純利益	136	143	△ 7 △ 5.1%	125	+11 +8.4%

✓売上高は、為替のマイナス影響があるものの、主に産業機器が好調に推移したことにより、増収となる

✓営業利益は、販管費の増加や原材料等のコストアップの影響があるものの、マシナリー・アンド・ソリューション事業の増収効果により、増益となる

世界経済の不透明感はあるが、成長戦略に変更なし

P&S

プリンティング

- ▶ グローバルに成長戦略を推進し、SOHO/SMB市場においてトップクラスのポジションを築く

P&H

家庭用ミシン

- ▶ 安定成長を図り、収益性を確保する

M&S

工業用ミシン・産業機器

- ▶ カテゴリーNO.1の商品群で、成長と収益を両立する

N&C

通信カラオケ・新規分野

- ▶ 通信カラオケ事業を中核とし、ネットワーク・アンド・コンテンツの分野において新規事業を拡大する

NID

新規事業

- ▶ ネットワークイメージングデバイス事業において、次世代を担う新規事業を育成・確立する

- ✓ SOHO・SMB市場におけるポジションを維持・拡大しつつ、ビジネスセグメントに注力
- ✓ 新興国におけるモノクロレーザーの販売拡大
- ✓ 販売力の強化と地域に合わせた商品開発・提供

販売促進に注力

- ◆ 東日本大震災によるサプライチェーン影響は終息し、生産は第2四半期に正常化
- ◆ 第2四半期以降、グローバルに販売促進を強化

カラーレーザー

モノクロレーザー



HL-2270DW



MFC-9970CDW

インクジェットプリンター新モデル

- ◆ ホームオフィス向け新製品の投入
新エンジン搭載で、従来機比3倍以上の高速印刷を実現



DCP-J925N

- ◆ 高速印刷A3インクジェット複合機の拡充



MFC-J5910CDW

A4インクジェット複合機並みのサイズでA3両面印刷が可能、コンパクトと使いやすさの両立を実現



MFC-J6710CDW

A3スキャン、A3プリント対応の自動両面 & 高速プリントエンジン搭載
高性能かつ低コスト・省エネを実現

製品ラインアップの拡大によりモバイルソリューションを強化 SOHO/SMB市場において新たなソリューションを提案

オフィス向けラベリングシステムの の拡販



PT-2730



- 中上位モデルの拡販を図る
- 新興国にも注力し、グローバルでNO.1の地位をより強固なものとする

モバイルプリンティングの拡大



PJ-663



- 顧客ニーズに基づき、モバイルプリンティングにおけるソリューションビジネスを強化する

ドキュメント活用ソリューション



DS Mobile 600



DSmobile 700

- モバイルスキャナーなどドキュメント活用を支援する商品やサービス・ソフトウェアを開発

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

NID事業

シースルー型ヘッドマウントディスプレイ 「AiRScouter(エアスカウター)」を事業化

- ✓ 工場での組立作業支援をはじめとする産業用途での販売拡大を目指す
- ✓ システム開発・構築会社を対象に営業活動を開始
- ✓ 日本電気株式会社(NEC)の現場業務向けウェアラブルコンピュータ「Tele Scouter®(テレスカウター)」のディスプレイとして採用され、NEC向けに出荷を開始



主な用途①



工場での
組立作業支援

主な用途②



倉庫での
商品・部品ピッキング作業支援

主な用途③

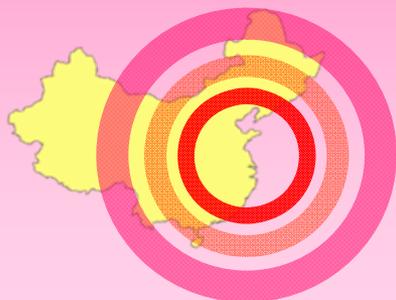


遠隔地からの
修理・メンテナンス作業支援

P&S事業

- プリンティング・アンド・ソリューションズ事業（プリンター、複合機、電子文具）

中国の開発機能強化



製品開発力の強化を目指し、中国における開発会社の業務を拡張

P&H事業

- パーソナル・アンド・ホーム事業（家庭用ミシン）

ベトナム新工場 （ホーチミン市近郊）



2012年4月稼動予定

安定成長と収益性を支える生産体制を構築する

M&S事業

- マシナリー・アンド・ソリューションズ事業（工業用ミシン、産業機器）

西安工場再編



2013年4月稼動予定

中国における工業用ミシンおよび産業機器の生産拠点を集約し、生産機能の強化と事業の効率化を図る

➤ 成長と収益を支える、「開発・製造」体制の強化を推進

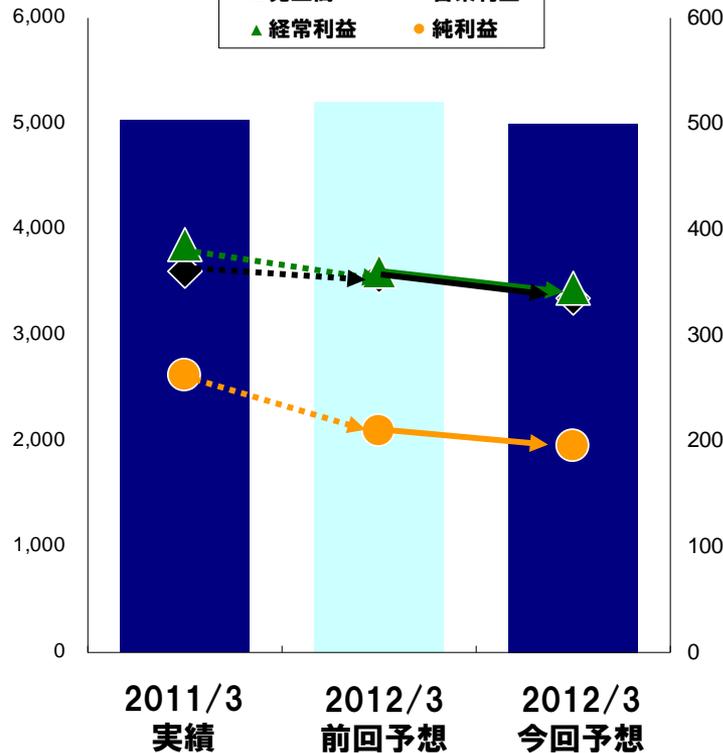
- ✓ 国内に加え中国での開発機能強化
- ✓ グローバルでの最適な製造拠点戦略の実行
- ✓ 成長を支える生産体制の強化

2012年3月期 業績予想

(億円)

売上高

利益



USD 85.82 80.58 77.67
EUR 113.56 116.10 109.83

()は為替影響を除いた増減率 単位:億円

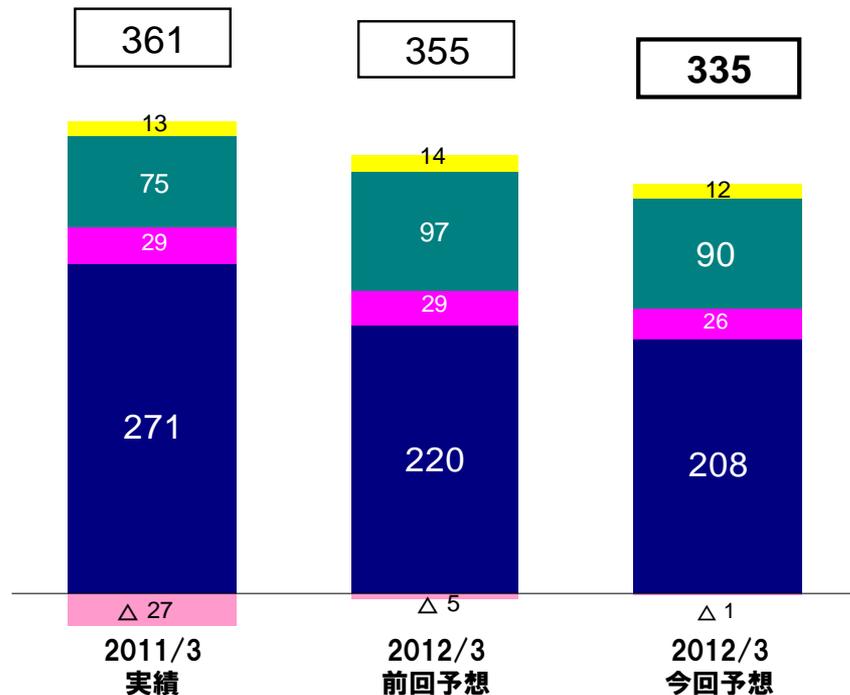
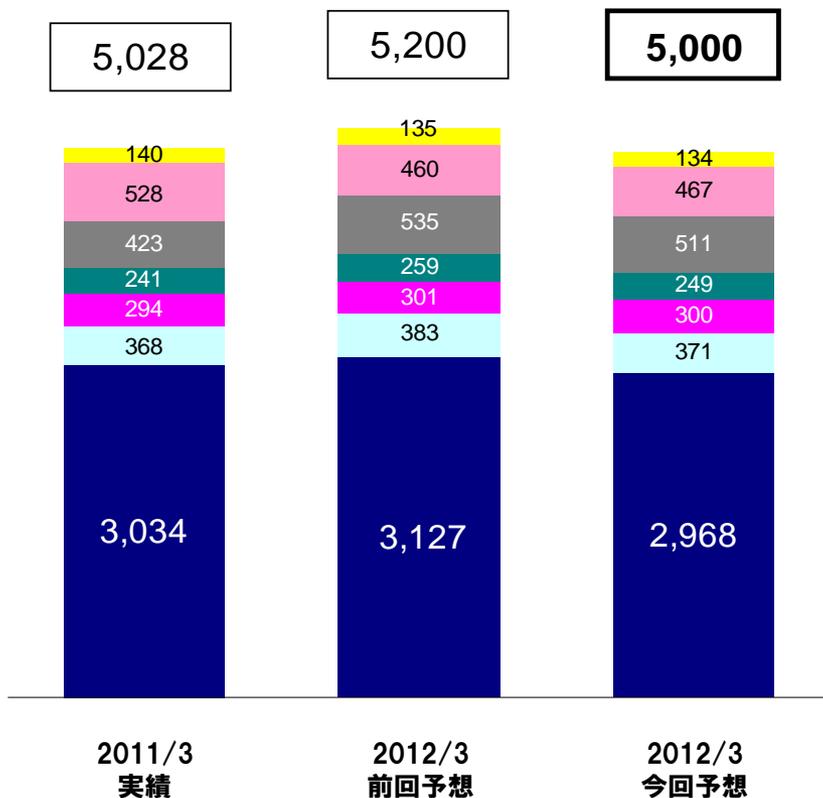
	2012年3月期 今回予想	対前年実績増減	対前回予想増減
売上高	5,000	5,028 $\Delta 28$ $\Delta 0.6\%$ (+4.0%)	5,200 $\Delta 200$ $\Delta 3.8\%$
営業利益	335	361 $\Delta 26$ $\Delta 7.2\%$	355 $\Delta 20$ $\Delta 5.6\%$
経常利益	345	386 $\Delta 41$ $\Delta 10.7\%$	360 $\Delta 15$ $\Delta 4.2\%$
純利益	195	262 $\Delta 67$ $\Delta 25.7\%$	210 $\Delta 15$ $\Delta 7.1\%$

✓売上高は、為替のマイナス影響に加え、景気の減速により、通信プリンティング機器や産業機器の売上見込みを引き下げたことにより、前回予想を下回る見通し

✓営業利益は、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業において、売上構成の改善等による増益効果はあるものの、為替のマイナス影響が大きく、前回予想を下回る見通し

売上高 (億円)

営業利益 (億円)

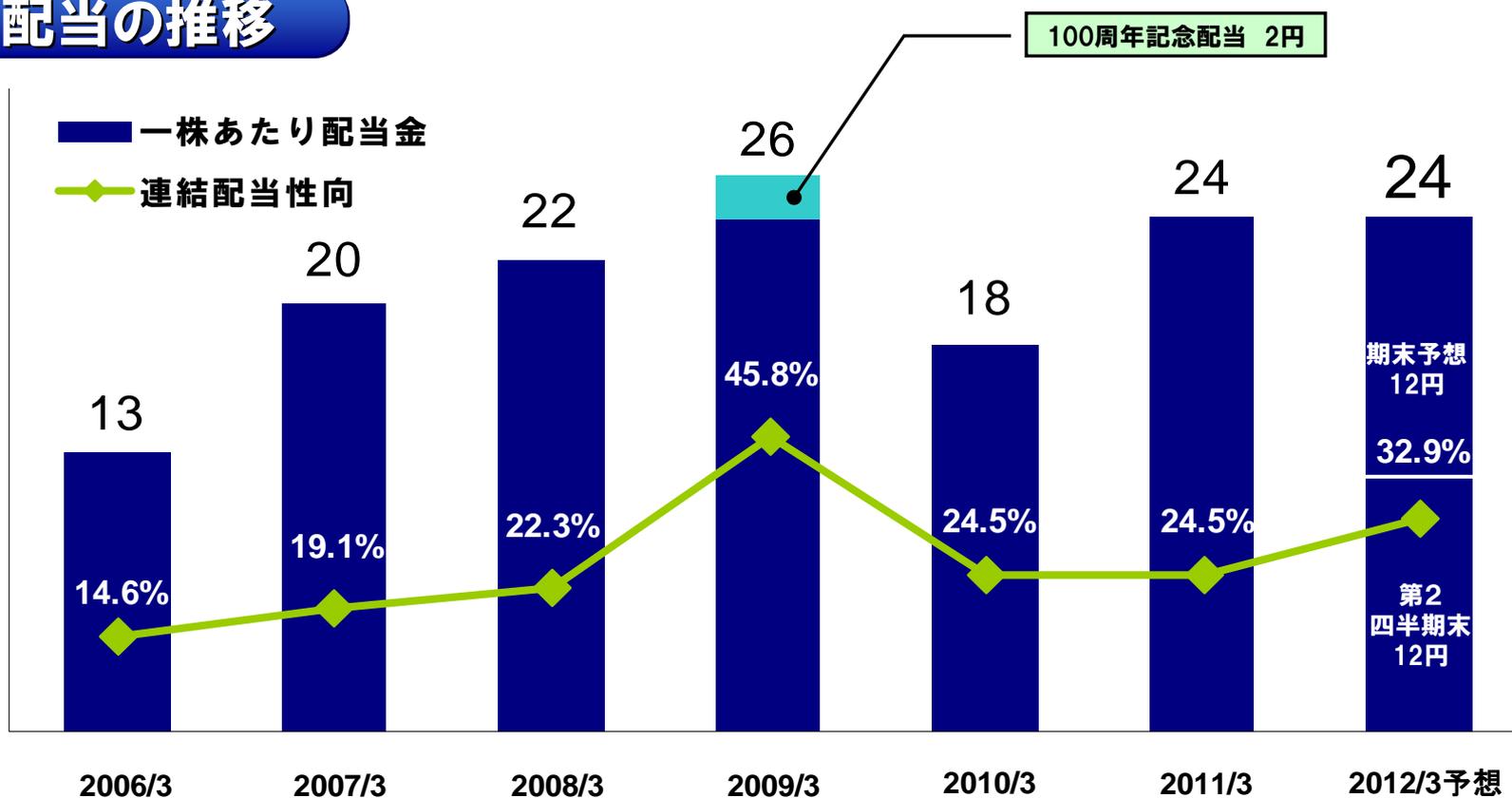


- 通信・プリンティング機器
- 家庭用マシン
- 産業機器
- その他
- 電子文具
- 工業用マシン
- 通信カラオケ・コンテンツサービス

- プリンティング&ソリューションズ
- パーソナル&ホーム
- マシナリー&ソリューション
- ネットワーク&コンテンツ
- その他

連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし
今期も安定的な配当を実施

配当の推移



2012年3月期 第2四半期の 決算内容と今期の見通し

連結業績ハイライト <2012年3月期 第2四半期実績>

単位:億円

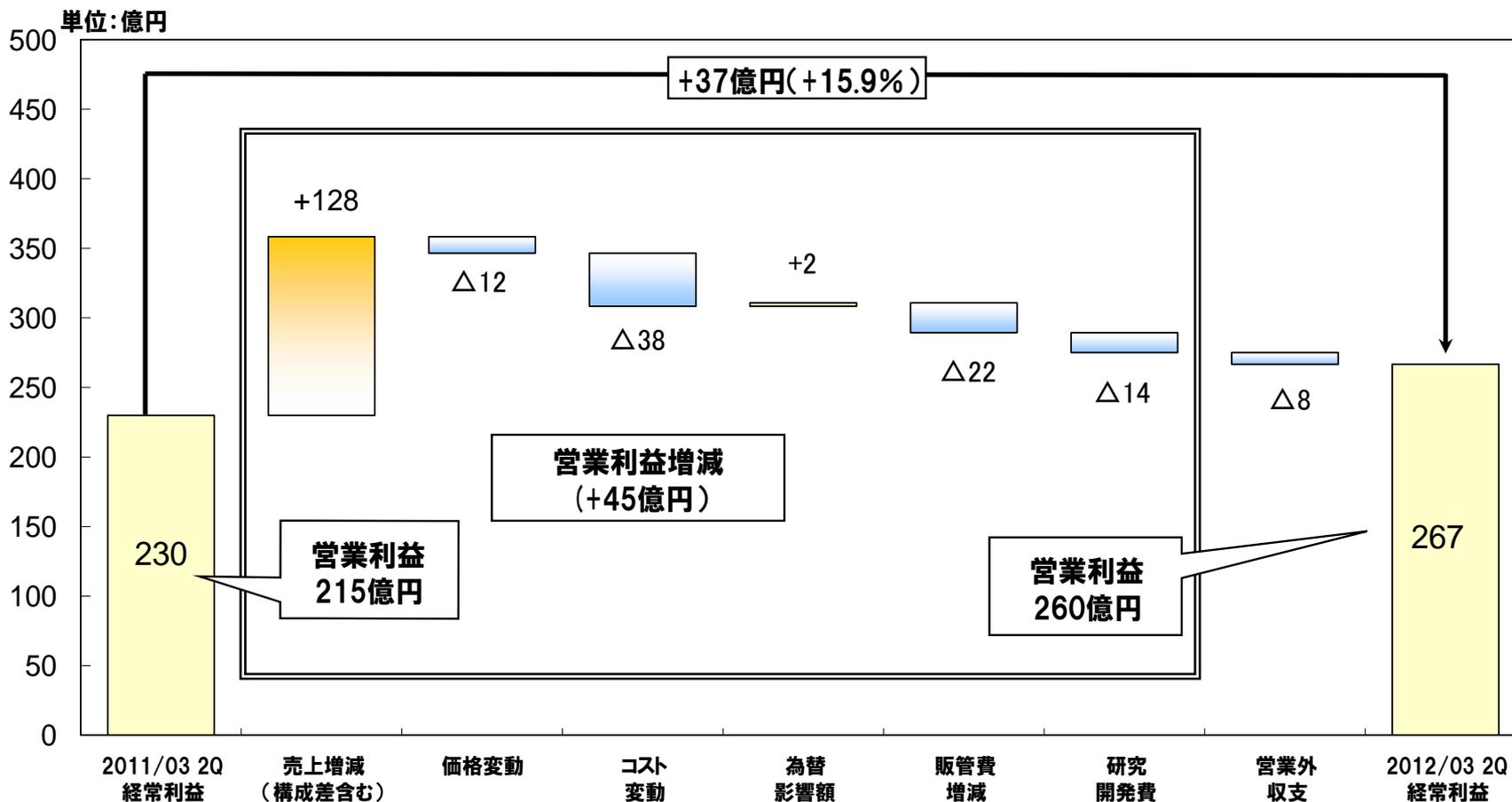
	2012/3 2Q(累計実績) (A)	2011/3 2Q(累計実績) (B)	増減額 (A - B)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2012/3 2Q(前回予想) (C)	増減率 (A/C - 1)
売上高	2,466	2,462	4	0.2% (3.6%)	2,470	△0.2%
営業利益	260	215	45	20.8%	230	13.1%
営業利益率	10.6%	8.7%	1.8%		9.3%	
営業外損益	7	15	△8		15	
経常利益	267	230	37	15.9%	245	8.8%
特別損益	5	△33	38		0	
法人税他	137	54	82		120	
当期純利益	136	143	△7	△5.1%	125	8.4%

単位:円

換算レート	USD	79.73	88.85	△9.12
	EUR	114.09	114.82	△0.73

- 売上高は、為替のマイナス影響があるものの、主に産業機器が好調に推移したことにより、増収となる
- 営業利益は、販管費の増加や原材料等のコストアップの影響があるものの、マシナリー・アンド・ソリューション事業の増収効果により、増益となる
- 四半期純利益は、税効果会計の影響により法人税等の負担が増えたため、減益となる。

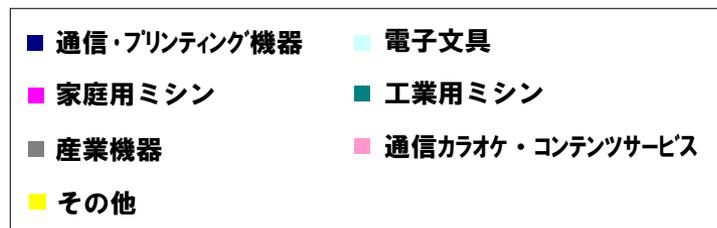
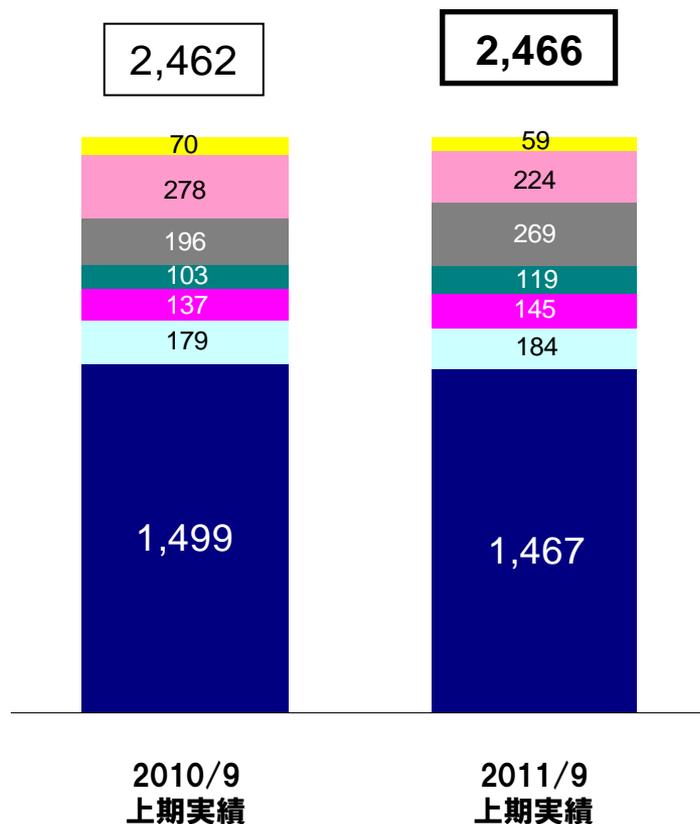
經常利益增減要因 <2012年3月期 第2四半期累計実績>



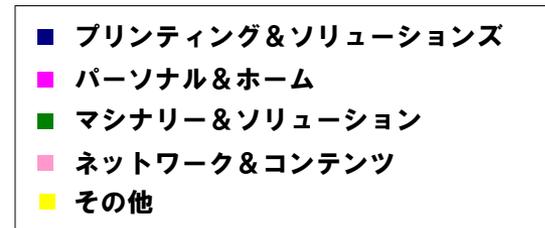
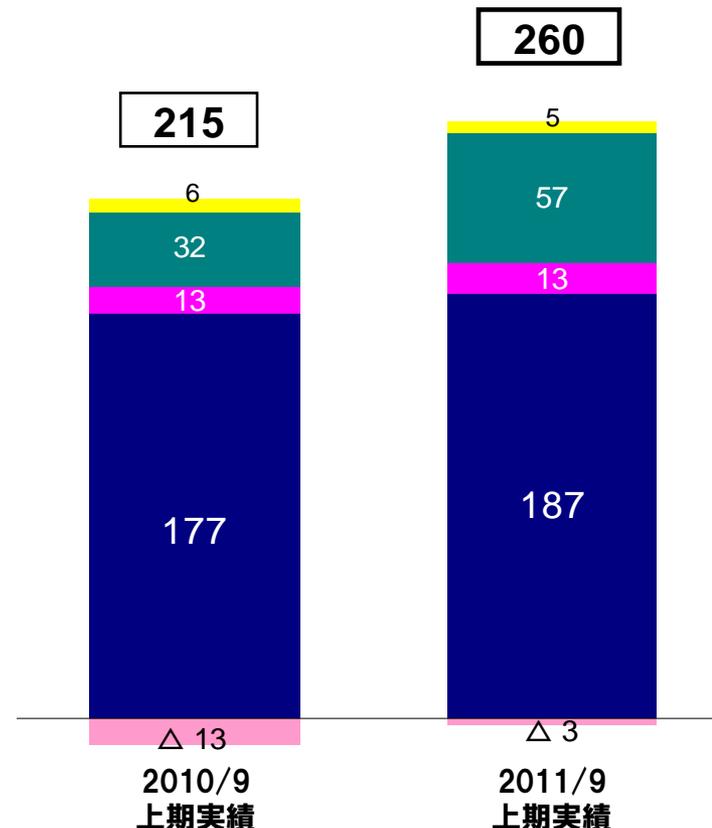
連結業績実績 セグメント別

<2012年3月期 第2四半期累計実績>

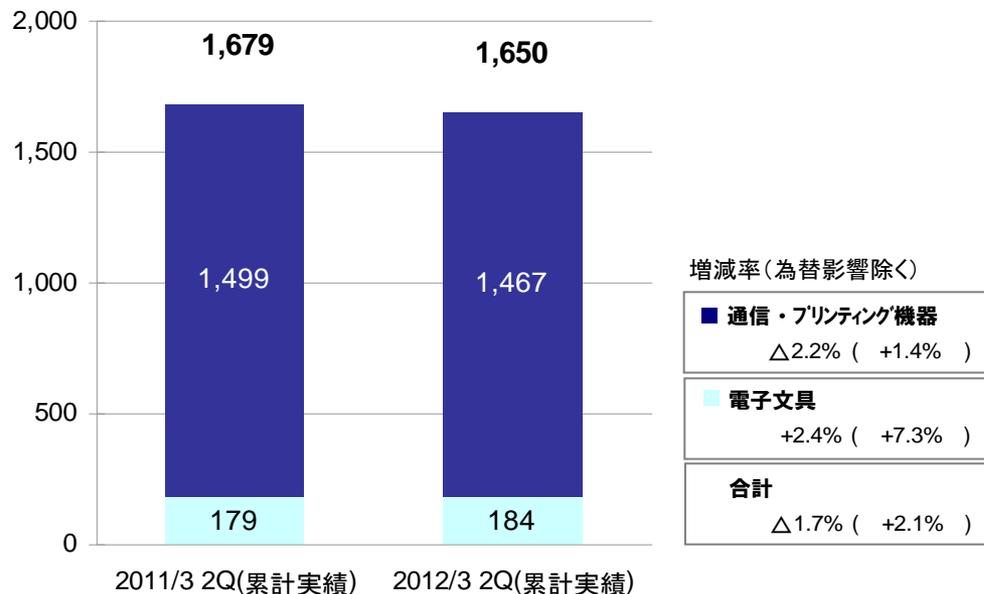
売上高 (億円)



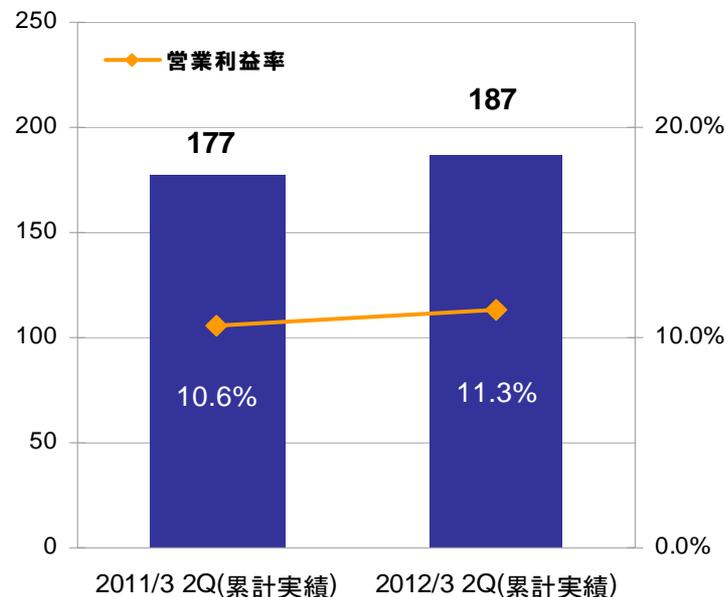
営業利益 (億円)



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(累計実績)	2012/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	546	505	△ 7.6% (+1.3%)
欧州	542	542	△ 0.0% (△0.1%)
アジア他	212	211	△ 0.7% (+2.4%)
日本	199	209	+5.1% (+5.1%)

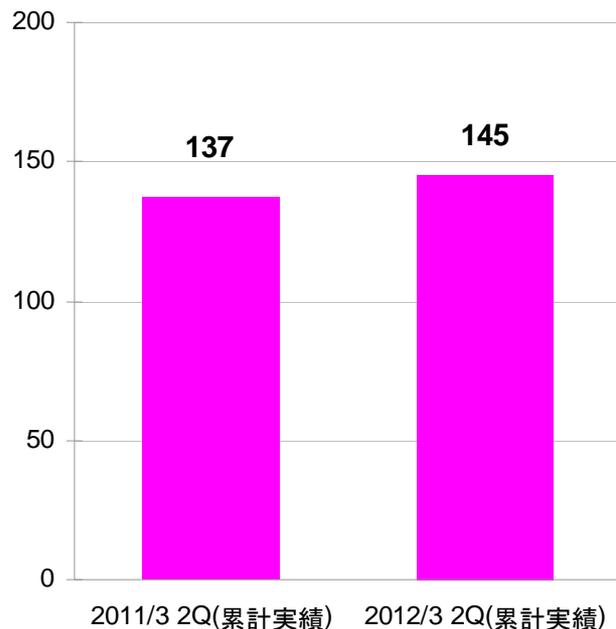
電子文具 地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(累計実績)	2012/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	91	87	△4.3% (+5.2%)
欧州	53	57	+7.4% (+6.7%)
アジア他	19	21	+11.4% (+15.4%)
日本	17	19	+12.4% (+12.4%)

- 売上高は、主に為替のマイナス影響により、減収となる
- 営業利益は、原材料などのコストアップはあるものの、売上構成の改善などにより、増益となる

売上高

(億円)

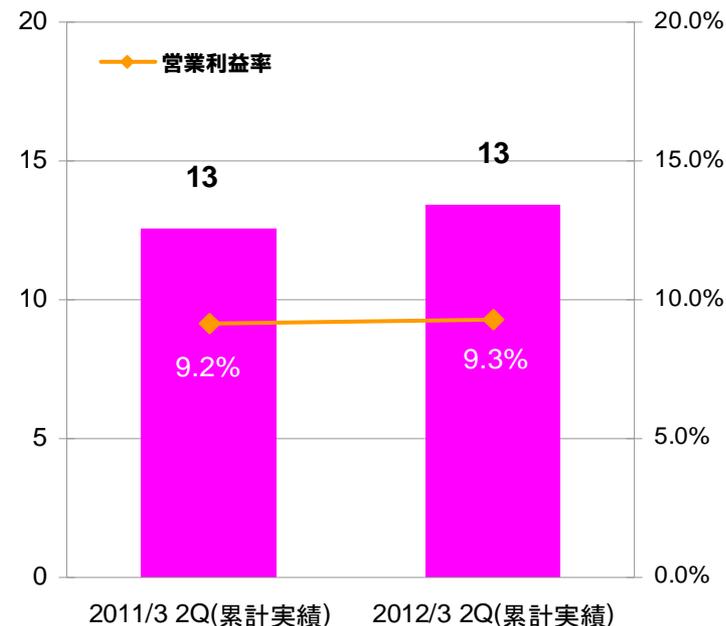


増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン
+5.7% (+10.8%)

営業利益

(億円)



家庭用ミシン

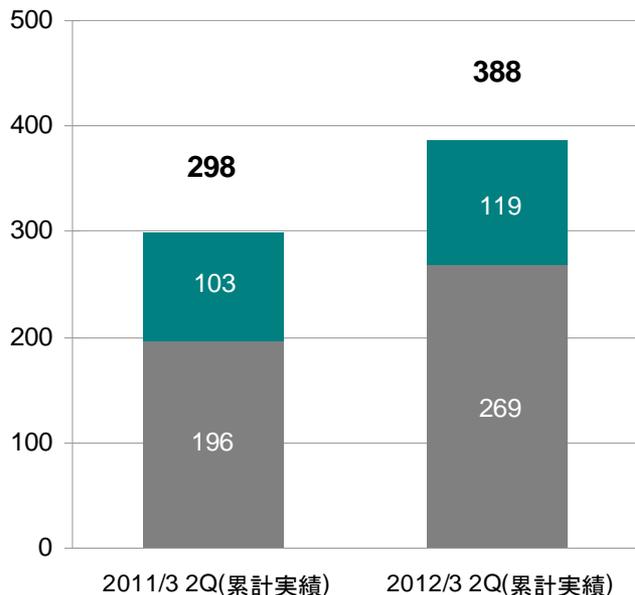
地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(累計実績)	2012/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	68	71	+4.9% (+15.2%)
欧州	27	32	+18.4% (+17.9%)
アジア他	14	14	△0.9% (+0.6%)
日本	28	28	△1.3% (△1.3%)

- 売上高は、欧米を中心に好調に推移
- 営業利益は、原材料などのコストアップはあるものの、ほぼ前年並みとなる

売上高

(億円)

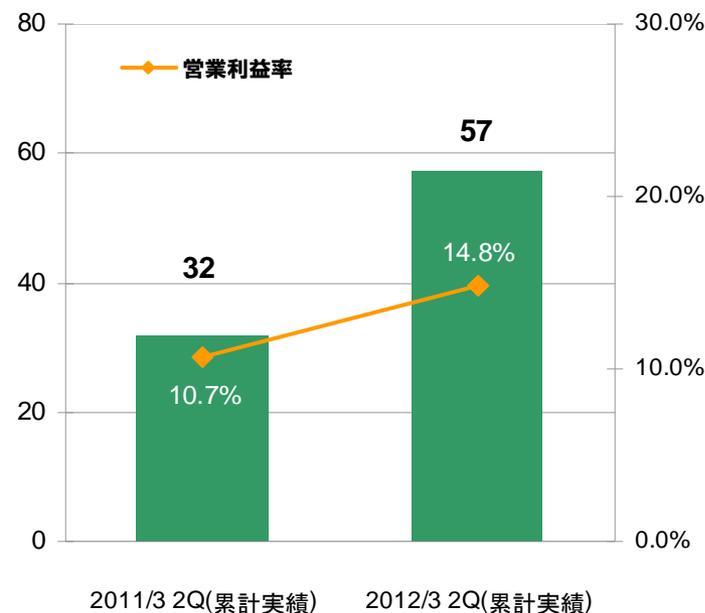


増減率(為替影響除く)

工業用マシン	+15.9% (+24.8%)
産業機器	+37.4% (+39.3%)
合計	+30.0% (+34.3%)

営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(累計実績)	2012/3 2Q(累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	17	17	+1.2% (+12.1%)
欧州	12	18	+46.9% (+46.2%)
アジア他	71	81	+15.4% (+25.9%)
日本	3	3	△12.2% (△12.2%)

産業機器

地域別売上高内訳(億円)

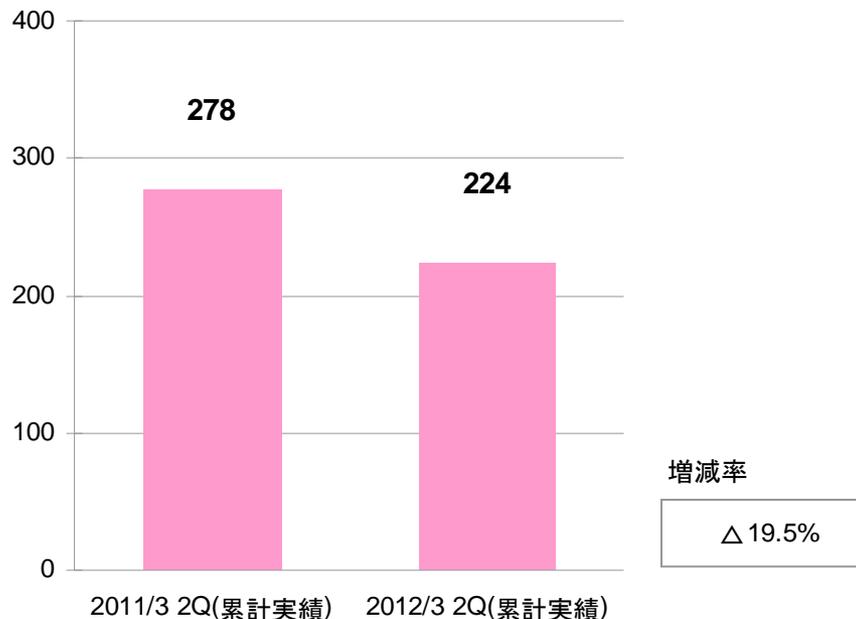
	2011/3 2Q(累計実績)	2012/3 2Q(累計実績)	増減率
米州	4	8	+96.4%
欧州	3	11	+294.1%
アジア他	173	226	+30.6%
日本	16	24	+49.4%

- 売上高は、アジア他地域を中心に好調に推移し、増収となる
- 営業利益は、増収に伴い大幅な増益となる

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

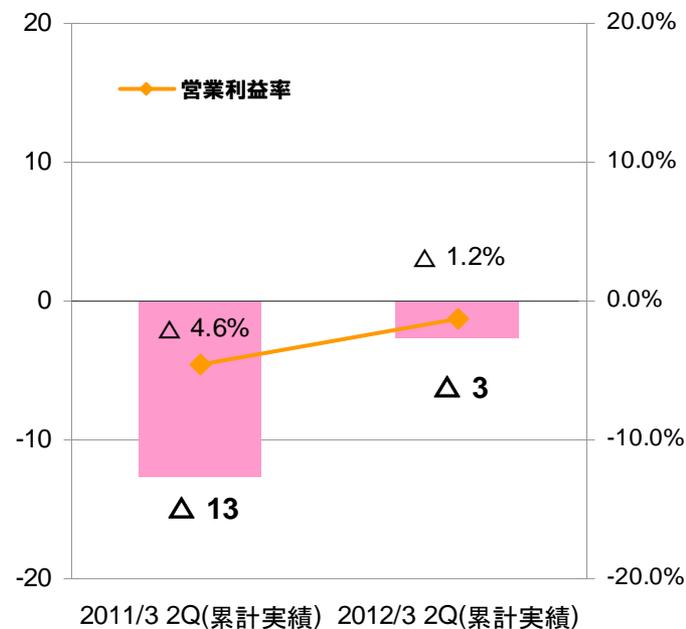
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



- 売上高は、震災による影響により、減収となる
- 営業利益は、経費削減等の統合効果により、赤字幅が縮小

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

連結業績予想の修正 <2012年3月期 通期予想>

単位:億円

	2012/3 予想 (A)	2011/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2012/3 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
売上高	5,000	5,028	△ 28	△0.6% (4.0%)	5,200	△3.8%
営業利益	335	361	△ 26	△7.2%	355	△5.6%
営業利益率	6.7%	7.2%	△0.5%		6.8%	
営業外損益	10	25	△ 15		5	
経常利益	345	386	△ 41	△10.7%	360	△4.2%
特別損益	△ 5	△ 46	41		0	
法人税他	145	78	67		150	
当期純利益	195	262	△ 67	△25.7%	210	△7.1%

単位:円

換算レート	USD	77.67	85.82	△ 8.15	80.58
	EUR	109.83	113.56	△ 3.73	116.10

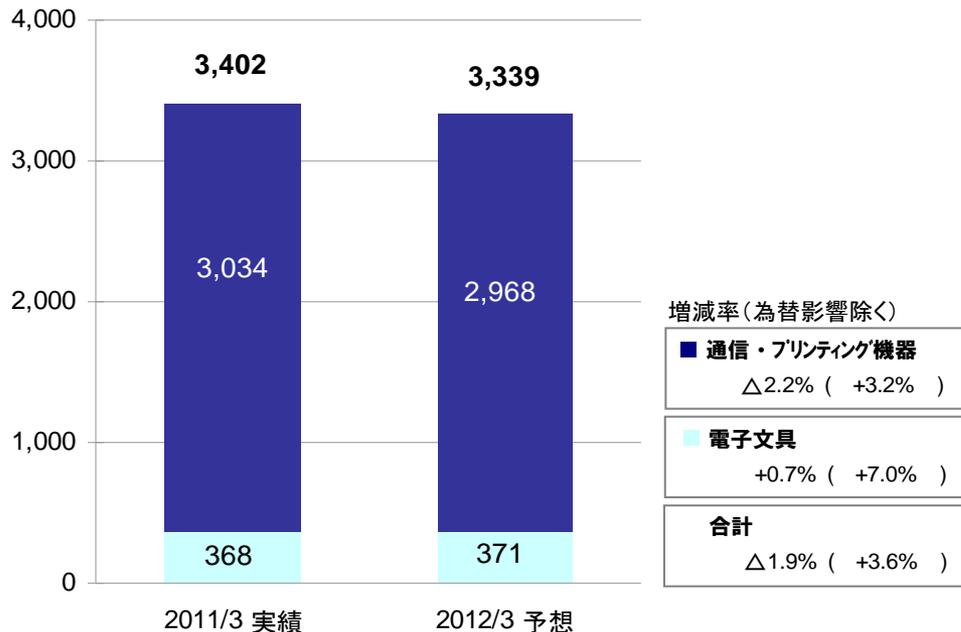
※ 2012年3月期の連結業績見通しの前提となる想定為替レートは、1米ドル=75円、1ユーロ=105円です。

※ 上記表内の2012年3月期の換算レートは、年間の平均レートです。

- ▶ 売上高は、マシナリー・アンド・ソリューション事業が引き続き好調であるものの、為替のマイナス影響により、対前年で若干の減収となる見通し
- ▶ 営業利益は、マシナリー・アンド・ソリューション事業の増収効果、及びネットワーク・アンド・コンテンツ事業の経費削減による改善効果はあるものの、為替のマイナス影響や原材料高等により、対前年で減益となる見通し

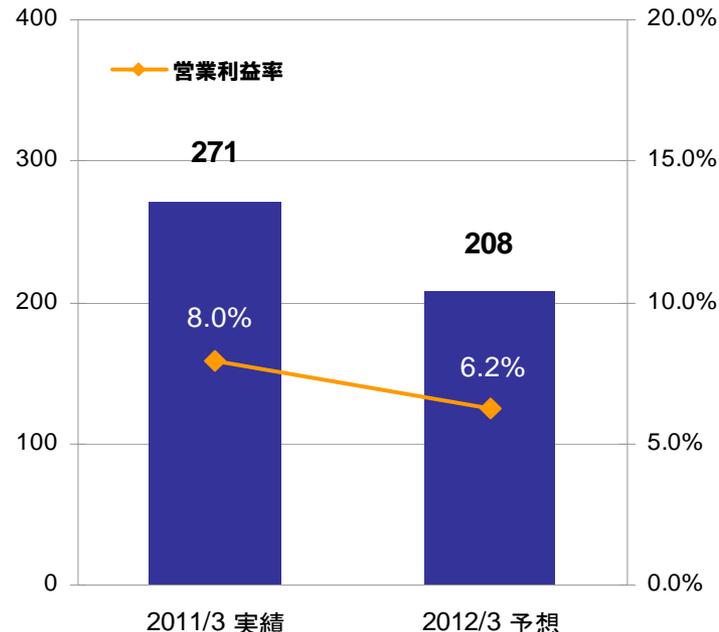
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 実績	2012/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	1,076	1,004	△ 6.7% (+2.5%)
欧州	1,142	1,122	△ 1.7% (+1.7%)
アジア他	421	414	△ 1.6% (+4.2%)
日本	395	428	+8.3% (+8.3%)

電子文具

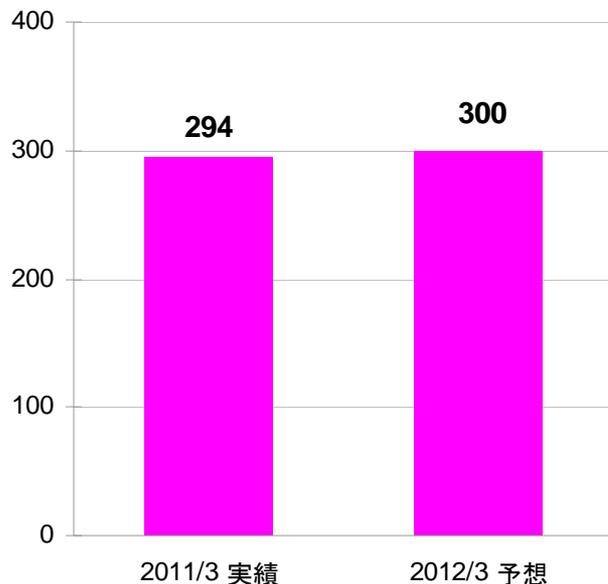
地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 実績	2012/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	180	174	△3.5% (+6.1%)
欧州	116	118	+1.9% (+5.0%)
アジア他	39	41	+5.5% (+11.6%)
日本	34	38	+13.4% (+13.4%)

- 売上高は、主に為替のマイナス影響により、減収となる見込み
- 営業利益は、為替のマイナス影響に加え、設備投資・研究開発費などの増加や、原材料などのコストアップにより、減益となる見込み

売上高

(億円)

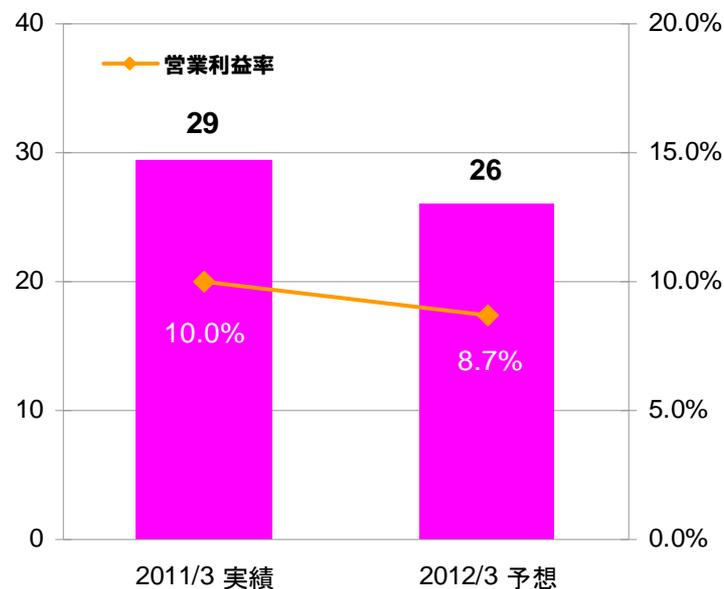


増減率(為替影響除く)

+1.9% (+8.1%)

営業利益

(億円)



家庭用ミシン

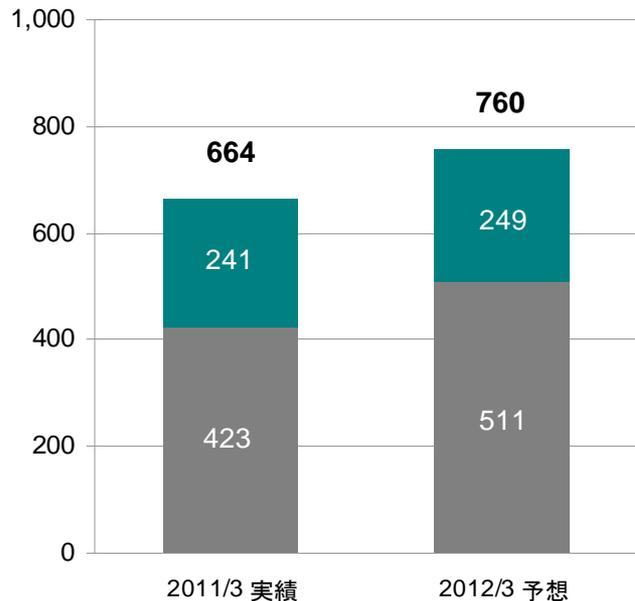
地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 実績	2012/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	138	141	+2.0% (+12.4%)
欧州	66	68	+3.8% (+7.2%)
アジア他	30	28	△7.6% (△2.5%)
日本	60	63	+4.4% (+4.4%)

- 売上高は、欧米を中心に増加する見込み
- 営業利益は、為替のマイナス影響や、原材料などのコストアップにより、減益となる見込み

売上高

(億円)

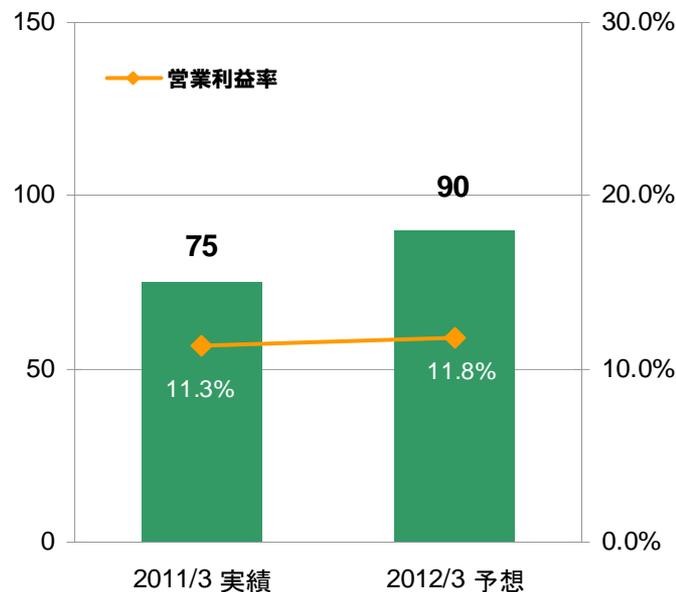


増減率(為替影響除く)

■ 工業用マシン	+3.3% (+11.0%)
■ 産業機器	+20.8% (+22.6%)
合計	+14.4% (+18.4%)

営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 実績	2012/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	32	28	△13.2% (△4.2%)
欧州	30	37	+23.7% (+27.9%)
アジア他	172	179	+3.8% (+12.2%)
日本	6	5	△22.7% (△22.7%)

産業機器

地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 実績	2012/3 予想	増減率
米州	12	14	+17.9%
欧州	12	18	+48.6%
アジア他	364	428	+17.5%
日本	35	51	+46.8%

- 売上高は、アジア他地域を中心に好調に推移し、増収となる見込み
- 営業利益は、増収に伴い増益となる見込み

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

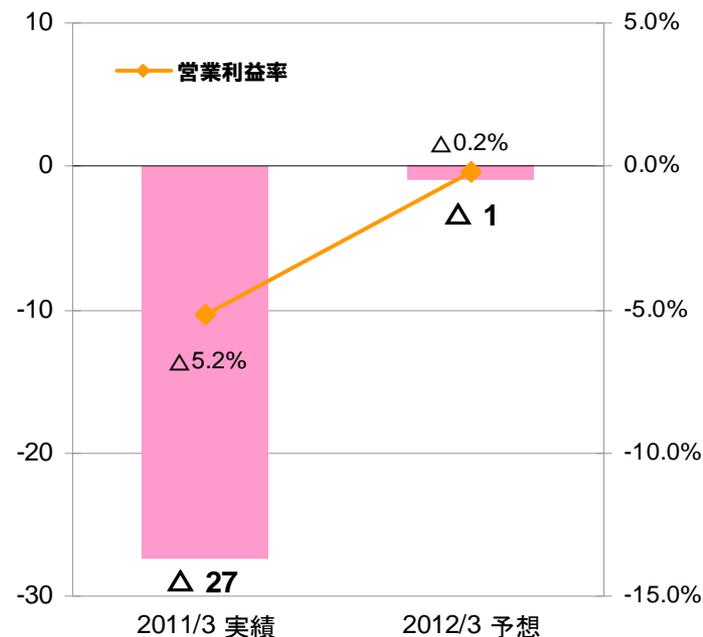
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



- 売上高は、主に震災影響により、減収となる見込み
- 営業利益は、経費削減等の統合効果により、赤字幅が縮小する見込み

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

【参考】連結業績ハイライト <2012年3月期 2Q(7-9月実績)>

単位:億円

	第2四半期 3ヶ月間			
	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	2011/3 2Q(3ヶ月実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,238	1,229	9	0.7% (3.9%)
営業利益	118	83	36	43.1%
営業利益率	9.5%	6.7%	2.8%	
営業外損益	3	15	△ 13	
経常利益	121	98	23	23.3%
特別損益	△ 3	△ 27	23	
法人税他	48	16	32	
四半期純利益	70	55	14	25.9%

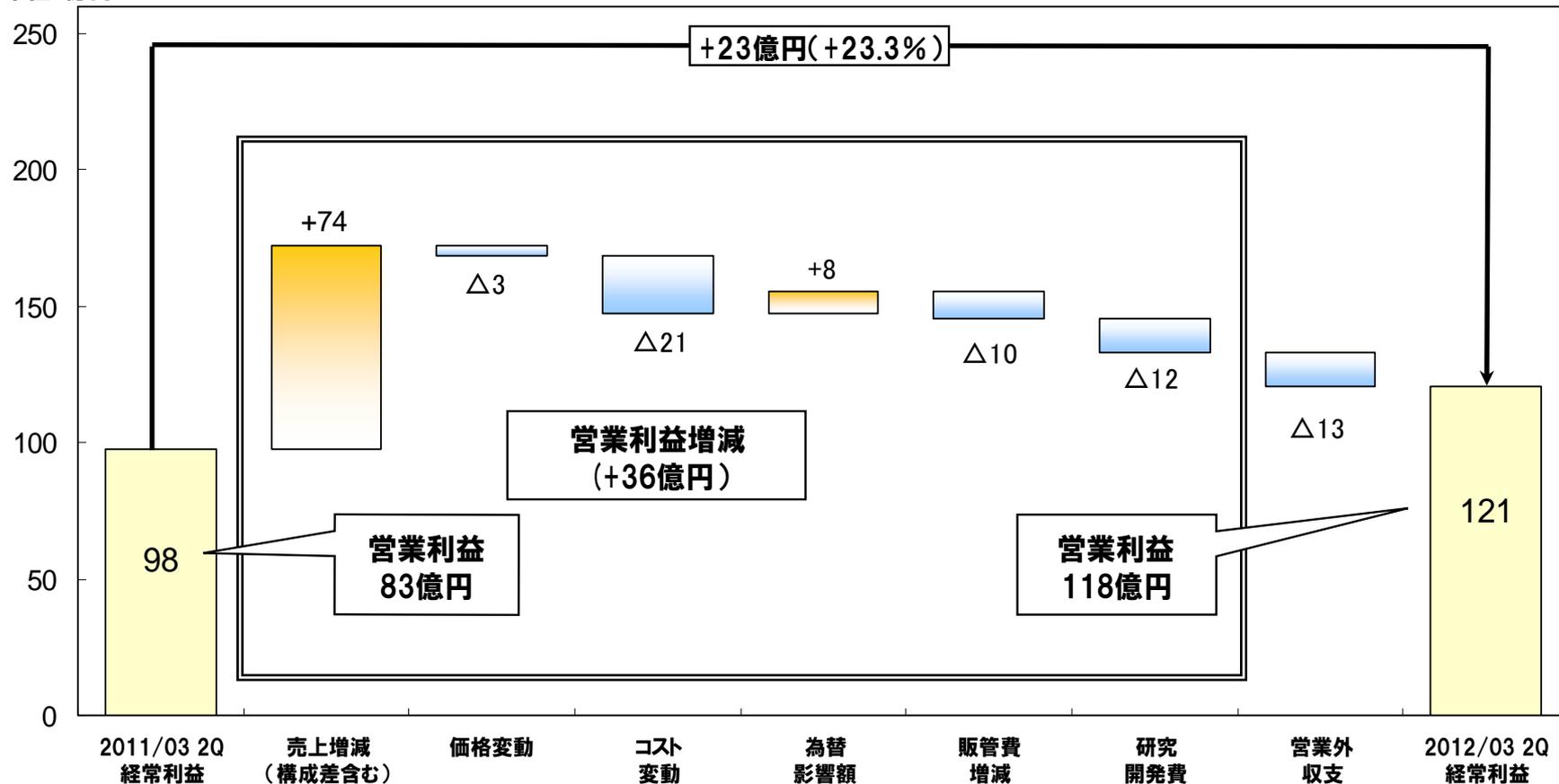
単位:円

換算レート	USD	77.99	85.89	△ 7.90
	EUR	110.76	110.54	0.22

- 売上高は、為替のマイナス影響があるものの、主に産業機器が好調に推移したことにより、増収となる
- 営業利益は、販管費の増加や原材料等のコストアップの影響があるものの、マシナリー・アンド・ソリューション事業の増収効果により、増益となる

【参考】 経常利益増減要因 <2012年3月期 2Q (7-9月実績)>

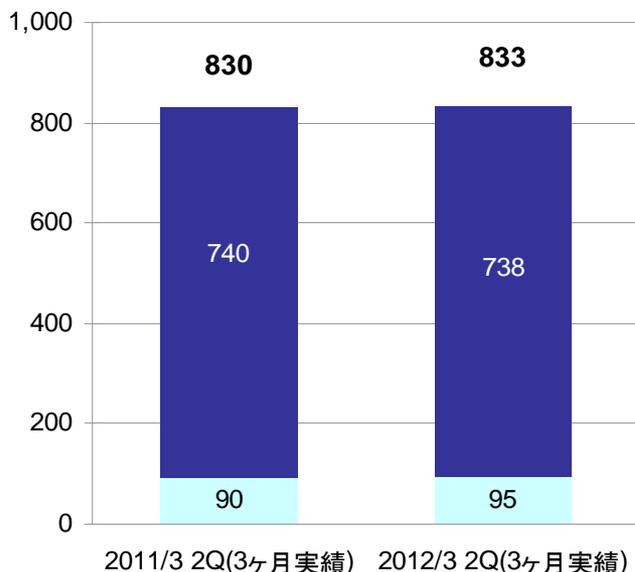
単位: 億円



【参考】プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2012年3月期 2Q(7-9月実績)>

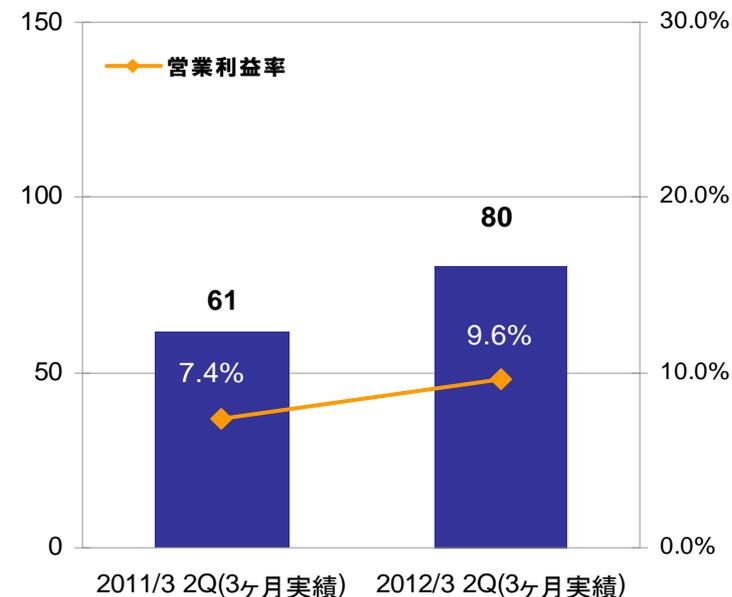
売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

通信・プリンティング機器	△0.3% (+3.2%)
電子文具	+5.9% (+10.7%)
合計	+0.4% (+4.0%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(3ヶ月実績)	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	272	259	△ 4.8% (+3.6%)
欧州	266	265	△ 0.3% (+0.0%)
アジア他	103	105	+2.2% (+4.4%)
日本	100	109	+9.5% (+9.5%)

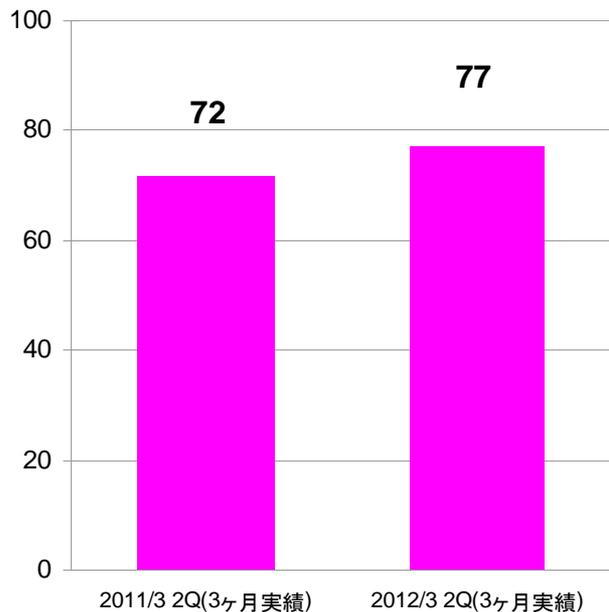
電子文具

地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(3ヶ月実績)	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	46	45	△2.1% (+6.8%)
欧州	25	29	+13.1% (+12.8%)
アジア他	9	10	+11.6% (+14.3%)
日本	9	11	+20.6% (+20.6%)

売上高

(億円)

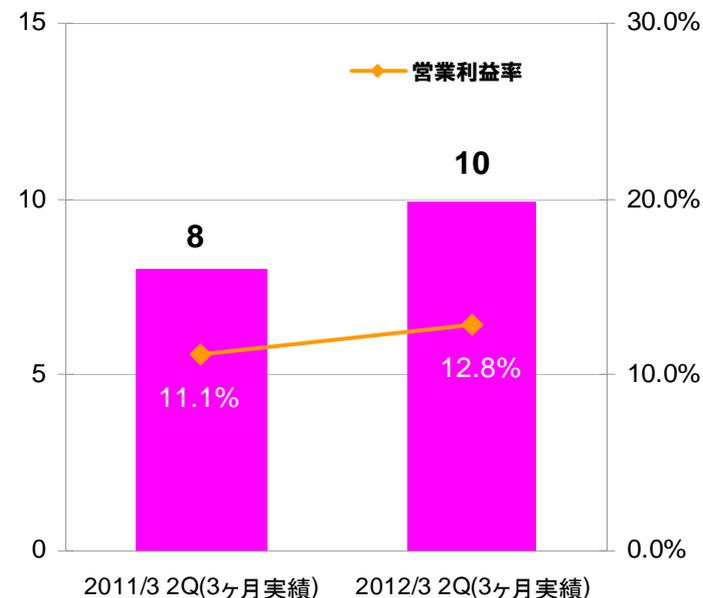


増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン
+7.5% (+12.5%)

営業利益

(億円)



家庭用ミシン

地域別売上高内訳(億円)

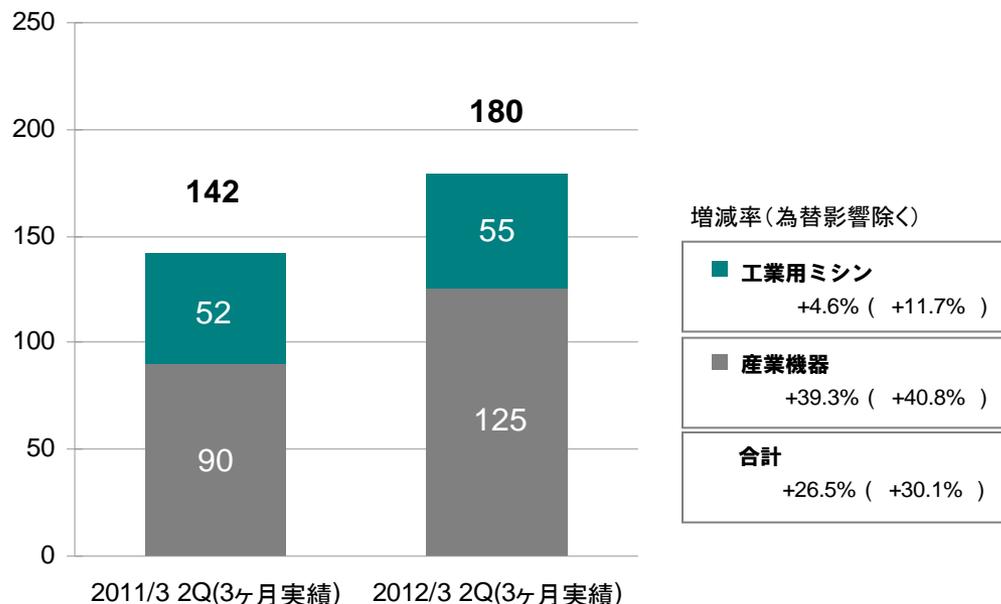
	2011/3 2Q(3ヶ月実績)	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	38	39	+3.0% (+12.6%)
欧州	14	18	+30.7% (+30.5%)
アジア他	7	7	△1.3% (△0.5%)
日本	13	14	+1.2% (+1.2%)

【参考】マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2012年3月期 2Q(7-9月実績)>

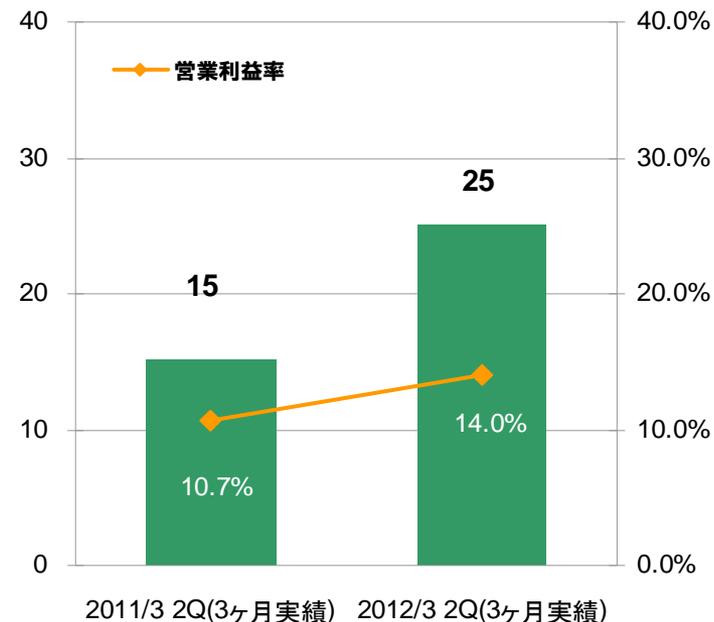
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(3ヶ月実績)	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	8	8	△0.7% (+9.0%)
欧州	6	7	+28.5% (+28.2%)
アジア他	36	37	+2.2% (+10.1%)
日本	2	2	+2.6% (+2.6%)

産業機器

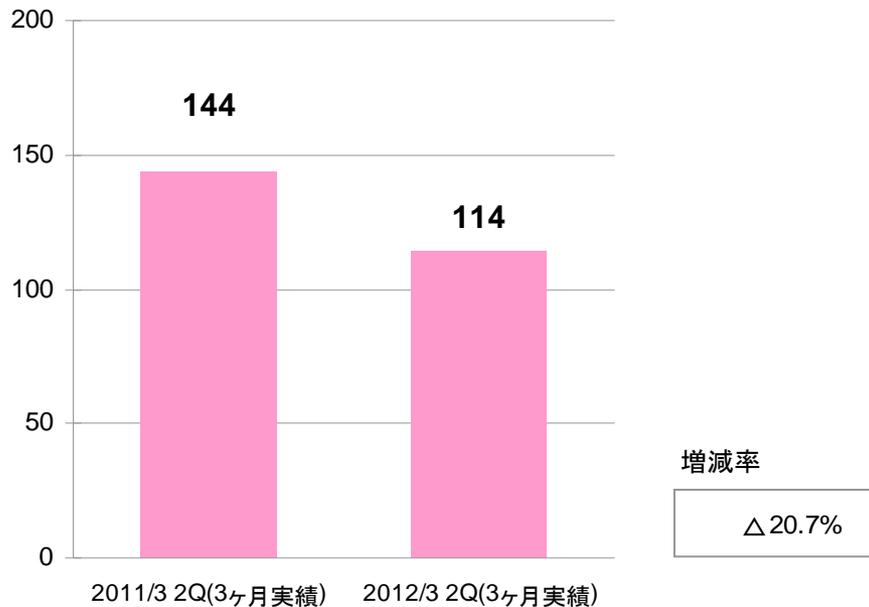
地域別売上高内訳(億円)

	2011/3 2Q(3ヶ月実績)	2012/3 2Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	2	3	+42.0%
欧州	2	5	+131.7%
アジア他	77	103	+34.2%
日本	9	14	+61.0%

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

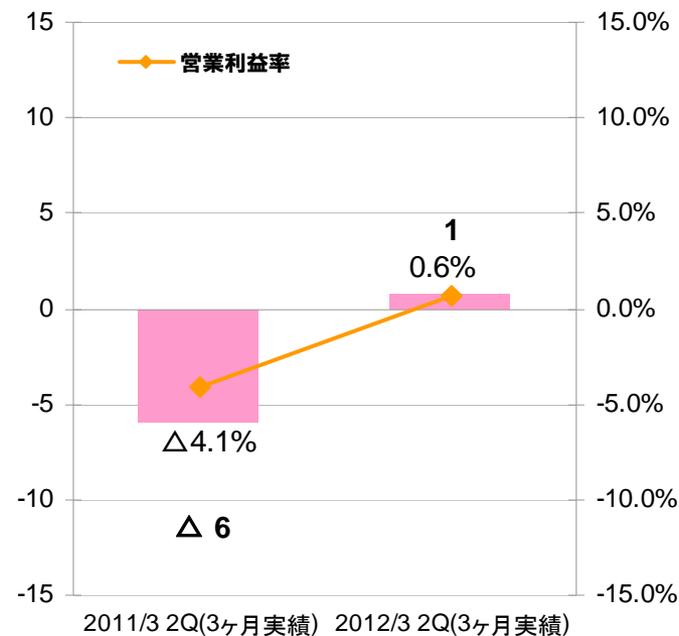
売上高

(億円)



営業利益

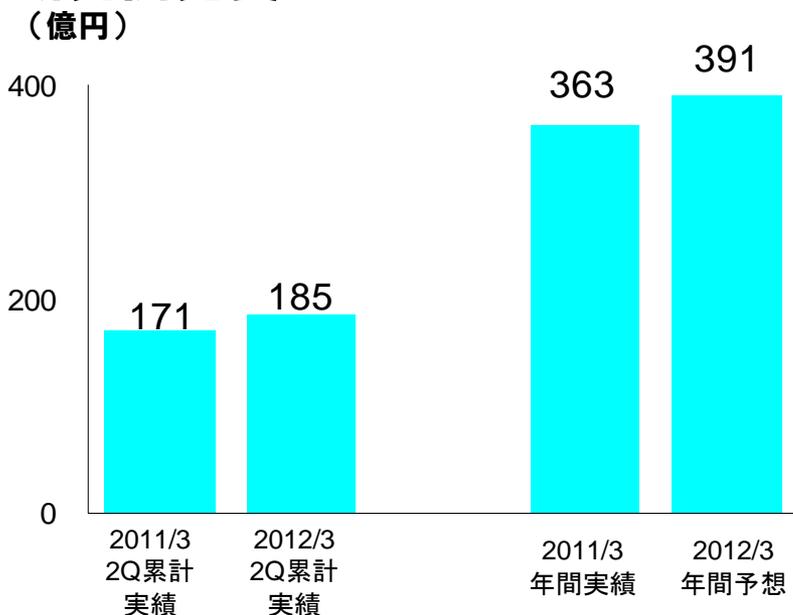
(億円)



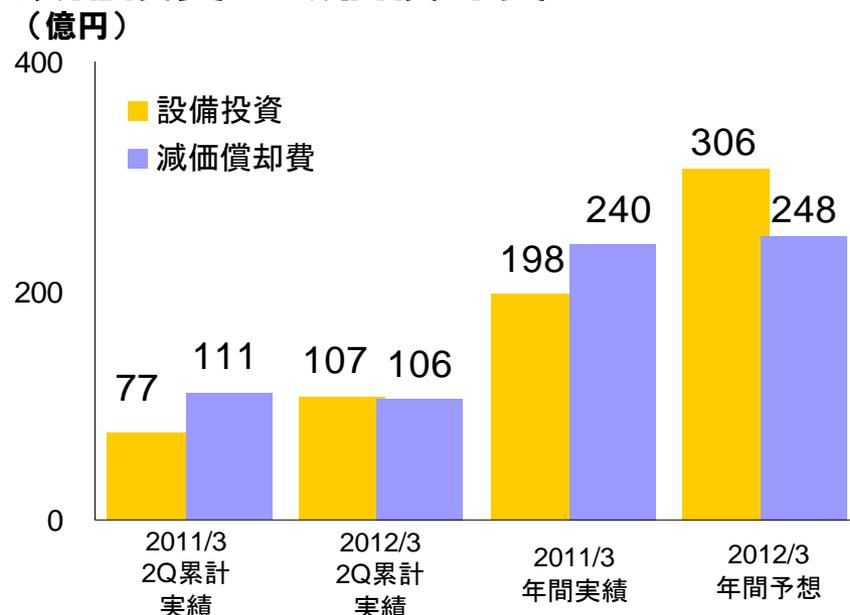
※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費・ 棚卸資産

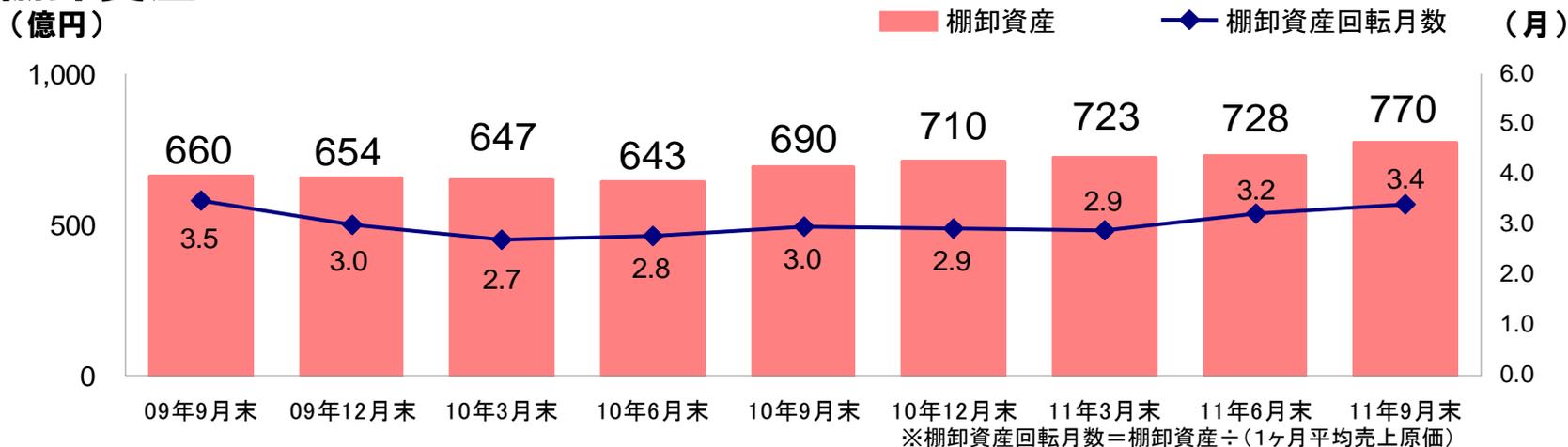
研究開発費



設備投資・減価償却費



棚卸資産



brother
at your side